

御船小学校に型染作品を寄贈

2月12日、肥後藍御船工房・工芸館の福永幸夫さんから御船小学校（本田尚一校長・323人）に、型染作品「想御船川」が寄贈されました。以前から学校に寄贈をしたいと考えられていた福永さん。作品にはかつて酒造りの町として栄えていた頃の白壁や目鑑橋などが再現されており、当時の様子が想像できます。本田校長は「川沿いに白壁があったことや目鑑橋のことを子どもたちに知ってもらいたい」と話しました。「想御船川」は学校玄関ホールに飾られています。



本田校長（左）と作品を寄贈した福永さん（右）



高校生と児童で行われたリヤカー贈呈式

リヤカーはメイド・イン・御船高校

2月15日、御船高校（米納康志校長、生徒560人）電子機械科の3年生6人が製作したリヤカー2台が、七滝中央小学校（木屋秀章校長、児童83人）へ贈られました。リヤカーは、地域に貢献するものづくりとして、課題研究の授業の一環で製作され、3年前から町内の小学校などへ贈られています。新しいリヤカー2台は、児童たちが美化活動などで使用する予定です。今年度は、ほかにも滝尾小学校と小坂小学校にも贈られています。

ひとりひとりに笑顔を配達

町民生委員・児童委員協議会（川口勝行会長）は2月5日、町内に住む75歳以上の一人暮らしの人を対象に、山菜おこわ弁当を配達しました。弁当は、男女共同参画推進部会が朝から411個を調理。対象が住む地域の委員から、一人一人に弁当が手渡されました。牛ヶ瀬1区の委員、浦田壽代さんから弁当を受け取った、下山ミヤさん（滝川・96歳）は、「弁当はとてもおいしく、毎年楽しみにしています。今日も朝から楽しみにしていました」と笑顔で受け取りました。



笑顔で弁当を受け取る1. 山城フミエさん（滝尾・93歳）と2. 下山ミヤさん 3. 男女共同参画推進部会で作った弁当

木倉小に図書を贈呈

熊本市明るい社会づくり協議会から木倉小学校（大脇為久校長・121人）に図書目録が贈呈されました。2月9日の贈呈式では、清田春雄会長が「本を読んで心の豊かな思いやりのある子どもに育ててください」とあいさつ。生徒を代表して星野葉月さんが「本がいただけて、とても嬉しく思います。早く読みたいです。これから、本を読む人がもっと増えるのではないかと期待しています。今日は本当にありがとうございます」とお礼の言葉を述べました。



贈呈式後の記念撮影

伝統の初市が開催

2月27日と28日、本町通りで初市が行われ、伝統の瀬戸物や植木のほか、さまざまな露店が並びました。商工会ではステージイベントとしてもち投げ、キッズダンス、カラオケ大会が行われたほか、ふねまるや御船中学校のものづくり部も登場し、会場周辺は1日賑わいを見せました。また、夕方から街なかギャラリーに屋台村が登場。会場には提灯に照らされた屋台と、机イス代わりのビールケースが並び、来場者は懐かしい昭和の雰囲気のなか飲食を楽しみました。



春は御船でひな祭り

2月14日から3月6日にかけて、町おひな様実行委員会主催の「第13回 スタンプラリー春は御船でひな祭り」が開催されました。14日にはオープニングイベントとして、街なかギャラリーで雑貨やスイーツが並ぶ「乙女市」とランウエーで着物姿を披露する「お座敷ファッションショー」が開催されました。午後からは和装結婚式が披露され、会場は多くの来場者で賑わいました。期間中、スタンプラリー参加店には多くの雛人形が飾られ、来店者を楽しませていました。



穴に玉を入れて得点を競うゲーム「スポットボール」

高木でゲートボール教室

2月29日、高木小学校グラウンドで、町ゲートボール協会（佐方年春会長・97人）と高木小学童保育うさぎクラブのゲートボール教室が実施されました。児童たちはボールとスティックを使ってさまざまなゲームをし、ゲートボールの楽しさに触れました。うさぎクラブではゲートボール部を結成。今後、毎週水曜日に練習をします。同協会の木村定徳さんは「子どもたちにゲートボールの楽しさを知ってもらい、ゆくゆくは試合ができるようになってもらえると嬉しい」と話しました。



1_ いろいろな世代のモデルが登場したお座敷ファッションショー 2_ たくさんの人に祝福された和装結婚式 3_ 恐竜博物館前のティラノサウルス 4_ 入所者が作った有料老人ホームふるさとのひな飾り 5_ 肥後藍御船工房・工芸館の明治・大正時代につくられたひな飾り



5